

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		地域共生のまちづくり推進事業				②事業番号		3405	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		令和 2 年度	⑤終了予定年度		令和 4 年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	○ 条例	○ 規則	○ 要綱	○ 計画等	○ その他	法令等の名称	
								まちなひとしごと創生法 泉南市農業漁業体験実施事業補助金交付要綱	
⑦実施手法		直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	○ その他			
⑧関連予算科目コード		款	5	項	1	目	3	細目	4
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		産業観光課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 農業漁業体験希望者		① 農業漁業体験希望者		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
泉南市の北側は大阪湾に接し、南側は農業振興地域に指定された里山が広がっており、都市生活と農業水産業が共存関係にある。近年、農作業の楽しさを味わいたい、自分で無農薬野菜を作ってみたい、自然とふれあいたいというニーズが高まりを見せており、市内農業者や漁業協同組合等の協力を得ることにより、農業漁業体験希望者を受け入れ、本市の豊かな自然に触れてもらう。		① 受入れ事業者等		団体	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
市内外から大人から子どもまでの幅広い世代の農業漁業体験希望者を受け入れ、本市の豊かな自然に触れてもらうことで、農業・漁業と観光を繋げ、多世代の人々により地域の活性化を図るとともに、農業・漁業の理解を深め関心をもってもらうことで、将来の担い手の呼び込みや育成に繋げることを目的とする。		① 農業漁業体験者		人	
		②			
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
・農業漁業の振興及び担い手確保と新たな観光資源としての活用による市全域の活性化が図られる。 その他の体系上の位置付け (3-1-1-4): 担い手の確保 農業 (3-1-2-2): 観光漁業の促進 (3-1-2-3): 担い手の確保 漁業 □		政策(章)	3	産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち	
		施策大(節)	4	豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします	
		施策中	2	観光事業の振興	
		施策小	2	新たな観光資源の開拓・整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	H31実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①		農業漁業体験希望者	人			0	70	—	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①		受入れ事業者等	団体			5	7	—	
活動指標②									コロナ禍により体験 者の受入れは断念 せざるを得なかった。
活動指標③									
成果指標①		農業漁業体験者	人			0	70	—	
成果指標②									事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人			0.10	0.10		
		任期付職員	人			0.00	0.00		
		臨時職員	人			0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	763	763		
		直接事業費	千円			1,500	3,000		体験事業PR費用 等の増加。
		総事業費	千円	0	0	2,263	3,763		
財源内訳	国庫支出金	千円				750	1,500		
	府支出金	千円				0	0		
	受益者負担金	千円				0	0		
	その他特定財源	千円				0	0		
		一般財源	千円	0	0	1,513	2,263		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	国の地方創生推進交付金を活用し、地域の活性化を図るとともに、農業・漁業の将来の担い手の呼び込みや育成に繋げようとした。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	開始年度に体験者受入れを予定していたが、コロナ禍により受入れは断念せざるを得なかった。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)				〔1〕の評価	A
評価項目		評価及び理由・説明等			
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)		ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	農業漁業振興及び地域活性に貢献する。		

〔2〕有効性				〔2〕の評価	B
②期待どりの成果が得られていますか。		ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	コロナ禍により体験者の受入れは断念せざるを得なかったが、受入れ団体として5団体に参画いただいた。		
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)		ア. ある イ. ない	より多くの受入れ団体に参画してもらい、様々な体験メニューを構築することで、農業漁業体験希望者数を増加させる。		
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。		ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—		

〔3〕効率性				〔3〕の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)		ア. ある イ. ない	泉南市観光協会への補助事業である。		

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	本事業は地域活性化及び担い手育成に繋がる重要な事業である。ポストコロナに備え、より多くの受入れ団体に参画してもらい、様々な体験メニューを構築することで、農業漁業体験希望者数を増加させることが重要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞			
ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (4 年まで)	エ. 休止 ↓ (年 年から) オ. 廃止 ↓ (年 年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)		
①改革、改善の具体案、実施年度など		—	
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—	